

教師ノート

週課	第三年 第一課 第三週
単元	ヨハネの福音書・1
テーマ	用いられる主
タイトル	五つのパンと二匹の魚
テキスト	ヨハネ 6:1-13
参照箇所	マタイ 14:14-21、マルコ 6:32-44、ルカ 9:10-17
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	第二コリント 9:7
AG 日曜学校教案参照箇所	
□導入	お母さんが作ってくれたお弁当って嬉しいですね。それを食べるのが楽しみなんですけど・・・このお弁当があんな事件になるなんて、想像もしないでしょう？
□ポイント1 大勢の人がイエス様のもとに集まってきました。(：5)	困りました。イエス様の話が聞きたくて、たくさんの人たちがイエス様を追いかけてきたのです。男の人だけで5000人くらいいました。だから、女の人や子どもをいれたらもっともっと多くの人がいたでしょうね。イエス様は、この人たちを見るとピリポに「どこからパンを買ってこの人たちに食べさせよう」と聞かれました。ピリポは困りました。だって、200 デナリあっても足りないのです。200 デナリは、労働者 200 日分の金額です。(チェーンバイブル参照)イエス様は、この後に起こる事を知っているのに聞いたのです。それは、ピリポを試すためでした。でも、ピリポの考えには、イエス様の存在がなかったようです。
□ポイント2 一人の少年がお弁当を献げました。(：9)	アンデレという弟子が、一人の少年のもっていたお弁当を持ってきました。そこには大麦で出来た五つのパンと小さい二匹の魚がありました。大麦のパンは、貧しい人のための安いパンですし魚も小さいので、貧しい家だったのでしょう。でも、それを持って来た少年にとっては、お母さんが持たせてくれた大切なお弁当でした。それを全部出したのです。少年は名も知られてなくて、数にも数えられていない子どもでした。弟子は「これっぽっちじゃ・・・」と言いました。 確かに 5000 人いや 10000 人くらいかそれ以上いたかもしれない人にはたりません。
□ポイント3 イエス様は少年の献げものを用いられました。	イエス様は、このお弁当を持ち感謝のお祈りをしてから、弟子たちに分けてみんなに配るように言ったのです。普通ならムリです。きっとお弟子さんたちもそう思っていたかもしれませんね。 でも、イエス様に言われた通りに配り始めました。最初はドキドキしながらちよつとずつだったかも知れませんが、配っても配ってもなくならいパンと魚。いつ増えたのでしょうか？ きっとお弟子さんたちもわからなかったのではないのでしょうか？ とうとうみんなに配って全員のお腹が一杯になりました。あのたった五つのパンと二匹の魚がです！ しかも、残った物を集めると、12 のカゴに一杯になったのです！ 一番驚いたのは、お弁当を献げた少年だったでしょうね。
*この場面は劇的な所なので、淡々とではなく、教師自身も楽しんで語って下さい。	弟子たちは「5つのパンと2匹の魚しかない」と思ったでしょうね。「とてもとても足りない」と。でもイエス様は「5つのパンと2匹の魚がある」と感謝をささげました。不満は不満を生みだし、感謝は感謝を生みだします。

例話)ある教会の牧師先生一家が、新しく教会を始めることになりました(開拓伝道)。新しい教会は家の教会で小さく、最初の礼拝は先生夫婦とその子どもたち2人、そして子どもの友だちが3人の7名でした。それまでは100人近い人々と一緒に礼拝をしていたので、少しさびしい気持ちになったでしょうね。でもその時1人の子どもが、5人の子どもたちと2人の大人がいるので、「5つのパンと2匹の魚みただね」と言ったのです。その先生はその子どもの言葉にとっても励まされ、神様に感謝をしました。それから何年かたち、今はたくさんの大人と子どもたちが教会に集っています。

私たちはまだ子どもで小さくても、持っているものが少なくても、人数が少なくても、神様に感謝していく時、神様は素晴らしいこととして下さいます。

□結論 イエス様は、名もない少年の小さな献げものを用いて大きな奇蹟をなさいました。

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

私たちは、神様に献げものをするとき「もったいない」とか「無駄だ」とかおもっていませんか？あるいは、「こんなちっぽけな物なんて献げたってしょうがない」と思っていないですか？神様には不思議な力がある事を知って下さい。神様は喜んで献げる人には何十倍もの祝福を与えてくださるのです。何をささげましょうか？

献金・・・お小遣いの中から献げましょう。

祈り・・・あなたの祈りを神様が聞いておられます。

奉仕の時間・・・少しの時間でも教会のお手伝いをしましょう。

献身・・・何よりもあなた自身を神様に献げましょう。将来、イエス様のための働きに用いて頂く人になりましょう。

考えてみよう：

私たちは、神様のために感謝しながら、どんなことが出来るでしょう？どんな小さい事でも神様は感謝して献げる人に、素晴らしい事をしてくれます。(教会で飼っている犬の散歩をする、タンバリンなどをそろえる、教会学校の準備や片づけを手伝う、休んでいるお友だちを誘いに行ったり手紙を書く、礼拝中に小さな子どもたちの面倒をみる、スリッパを並べる、その他・・・)

教師自身の証が効果的だと思います。自分が神様に献げたことで祝福に預かった事をぜひ証して下さい。ただし、ご利益的にならないように配慮して下さい。